

第3次石狩市漁業振興計画

アンケート集計

実施期間 令和3年 9月27日から
令和3年11月22日まで

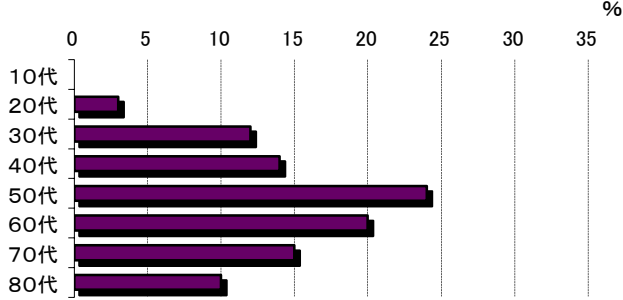
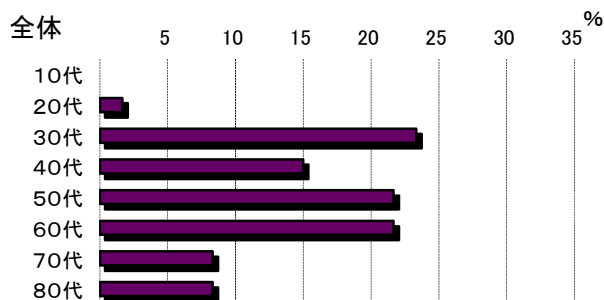
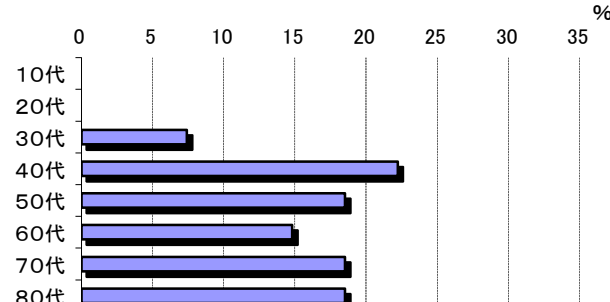
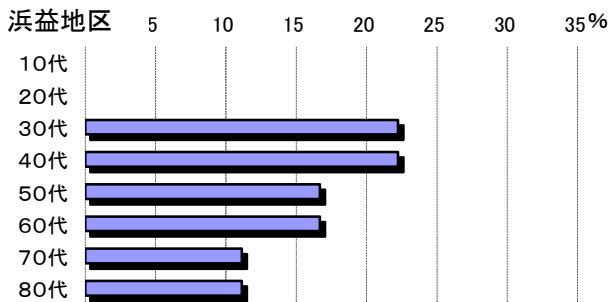
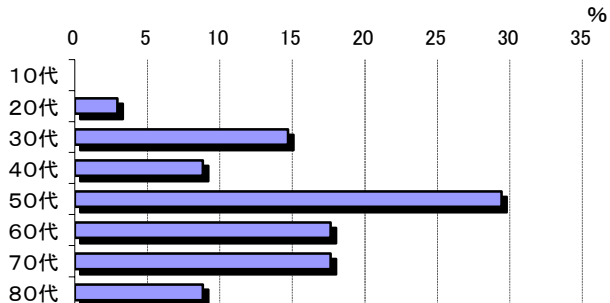
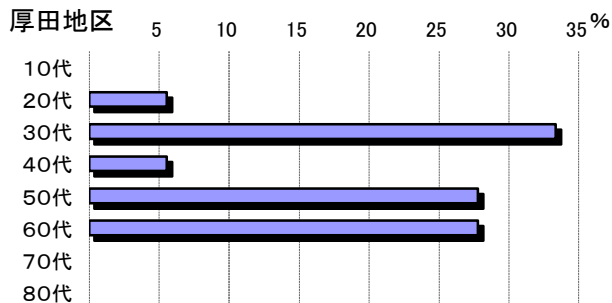
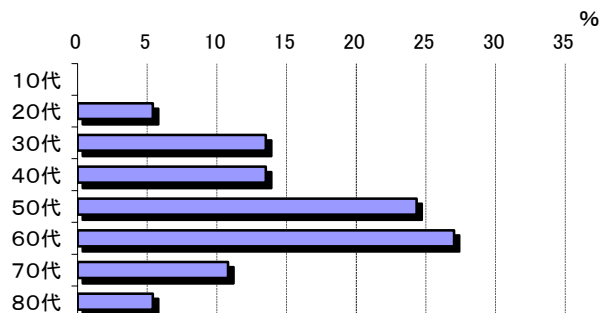
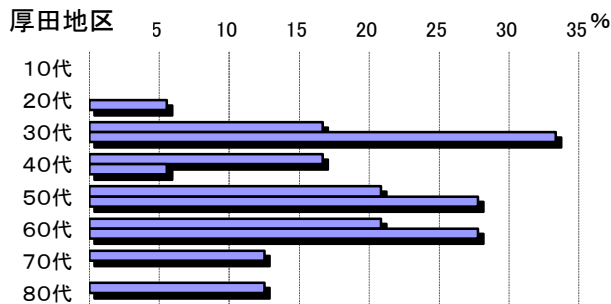
回収率	送付件数	105件
	回収件数	60件
	回収率	57.1%

問 1 あなたの年齢・地区をおしえてください。

アンケートの回答者のうち、60歳以上の占める割合は38%となっています。地区別に最も比率の高い年齢層は、石狩地区で50、60歳代、厚田地区で30歳代、浜益地区で30、40歳代となっています。また、60歳以上の比率は、石狩地区で46%、厚田地区で28%、浜益地区で39%となっています。
 前回調査と比べると40歳以下の割合が増えています。

令和3年

平成28年

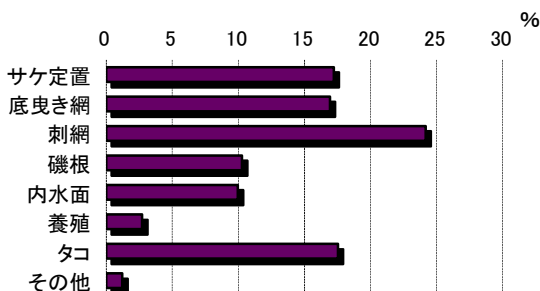
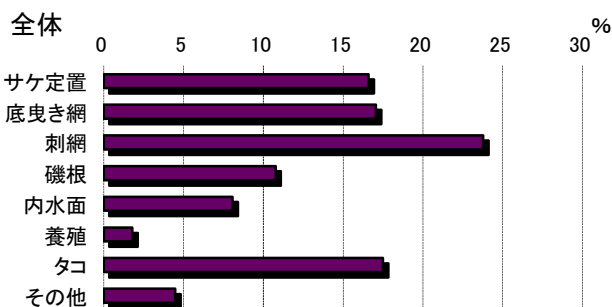
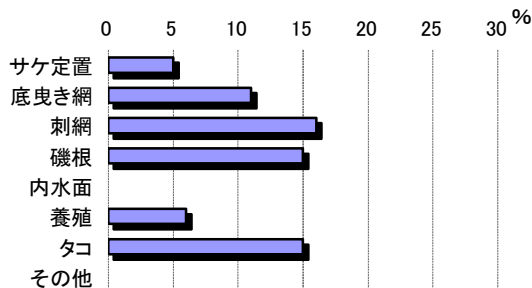
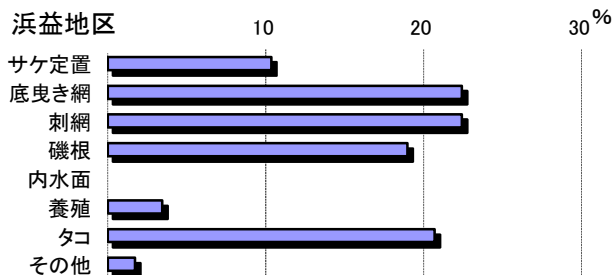
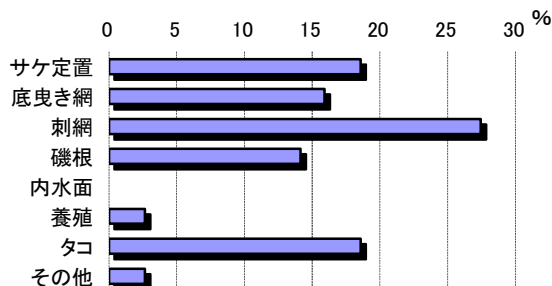
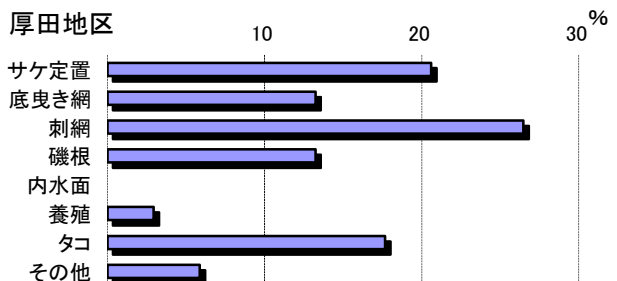
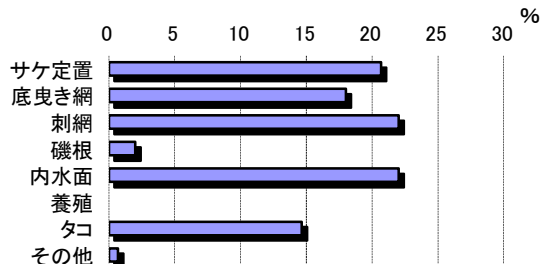
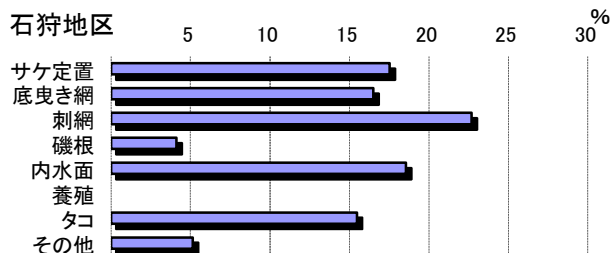


問 2 あなたが従事している漁業種類は何ですか。
 該当するものを選んで○をつけて下さい(複数選択可)。

操業形態をみますと、全体で最も多いのはカレイ、ニシン、シヤコなどの刺網漁業で、次いで底曳き網漁業となっています。地区別では、石狩地区では内水面漁業、サケ定置網漁業が、厚田地区ではサケ定置網漁業が、浜益地区ではタコ漁業が高い比率となっており、前回調査と変わらない結果となっています。

令和3年

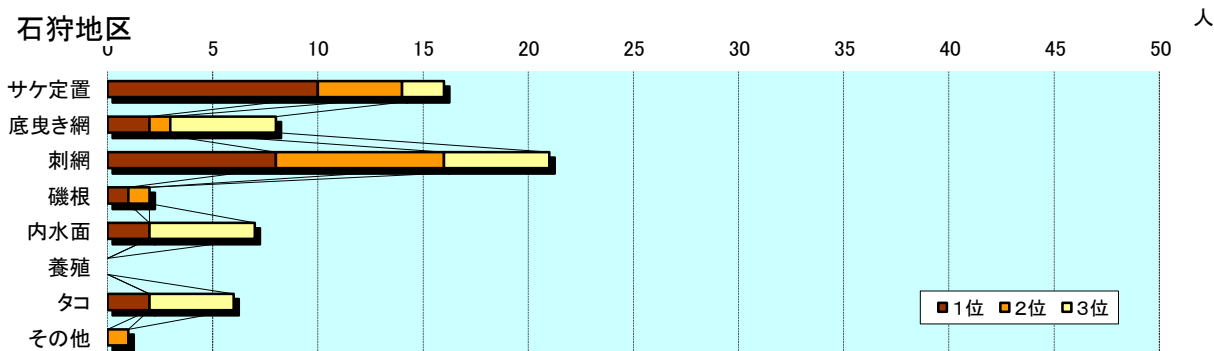
平成28年



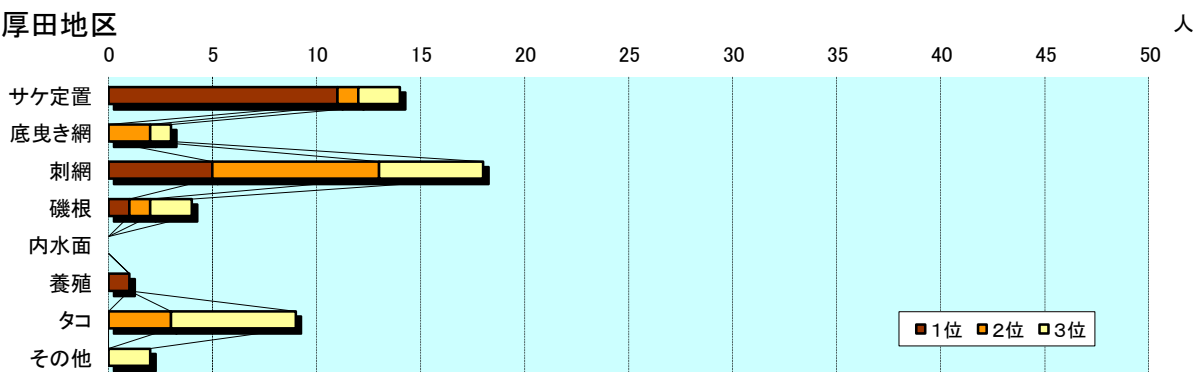
問3 あなたが従事している漁業種類の中で、収入の柱となるものは何ですか。
1番から3番まで、順位をつけて選んでください。

操業形態のうち収入の柱として全体では刺し網漁業となっており次いでサケ定置網となっています。地区別では、石狩、厚田地区では刺し網漁業に次いでサケ定置網漁業と同様の傾向になっておりますが、浜益地区では底引き網漁業とタコ漁業が多くなっています。

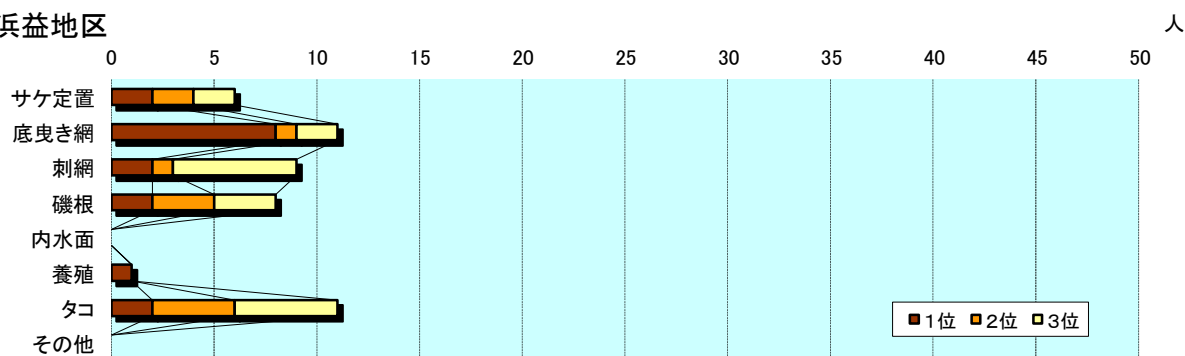
石狩地区



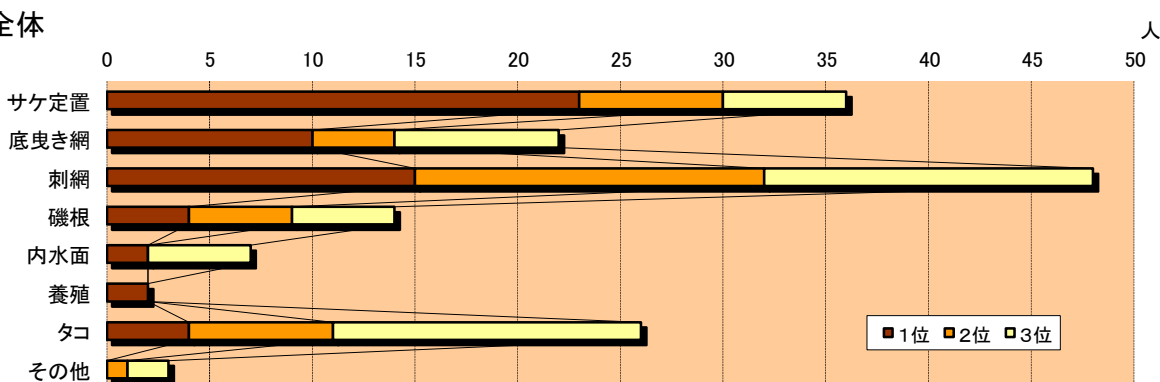
厚田地区



浜益地区



全体

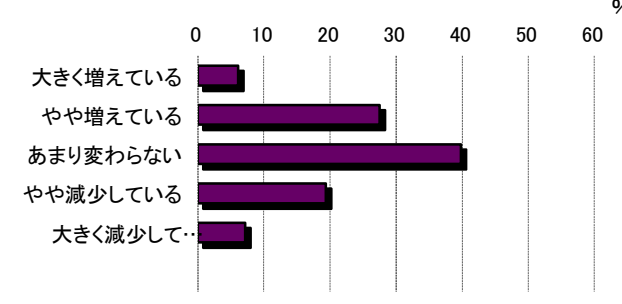
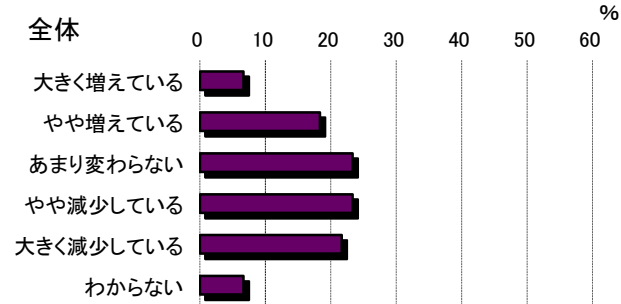
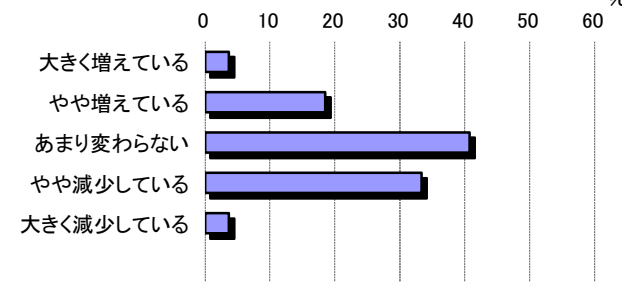
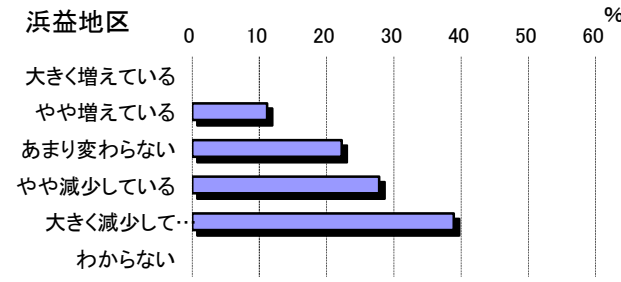
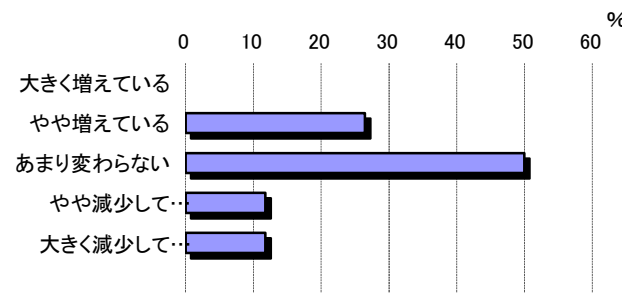
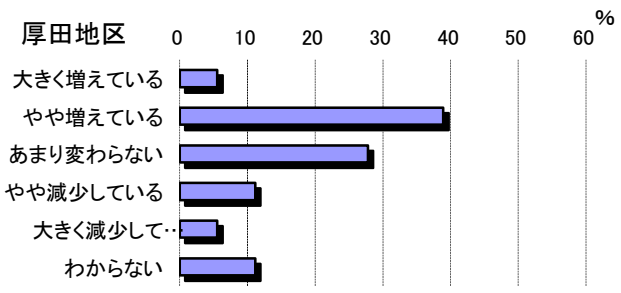
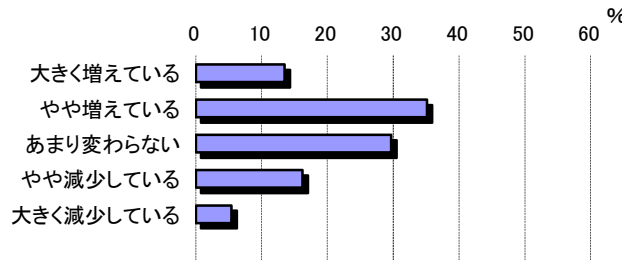
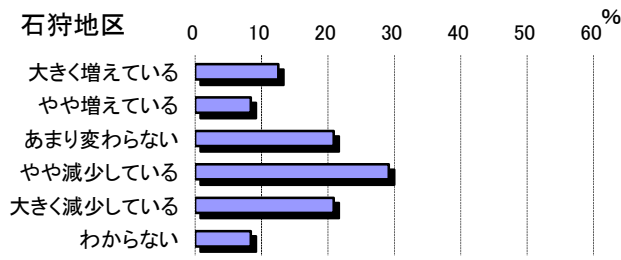


問4 あなたの漁業収入は5年前と比べてどうですか。
1つ選んで○をつけてください。

5年前と比べた漁業収入について、全体では、「あまり変わらない」、「やや減少している」が23%を占め、次いで「大きく減少している」の21%、「やや増えている」の18%となっています。地区別に見ますと、石狩地区では「やや減少している」が29%、厚田地区では「やや増えている」が39%、浜益地区では「大きく減少している」が39%となっています。
前回調査と比較すると「減少している」の割合が増えています。

令和3年

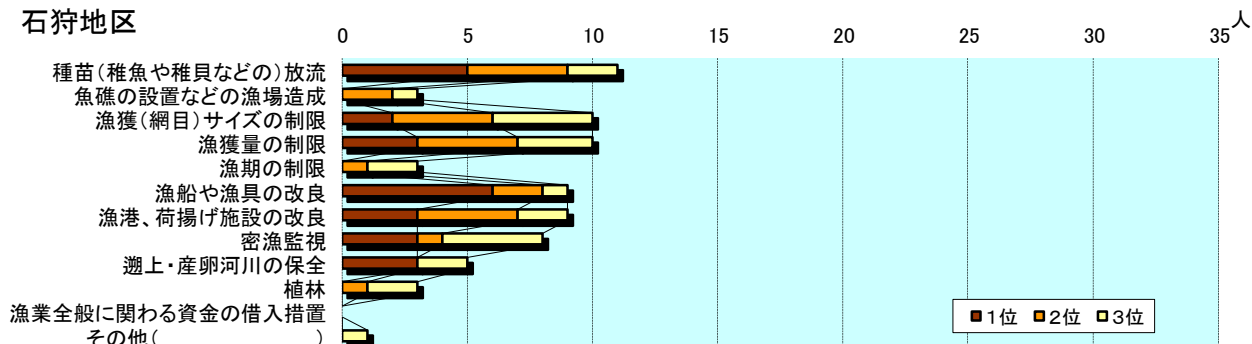
平成28年



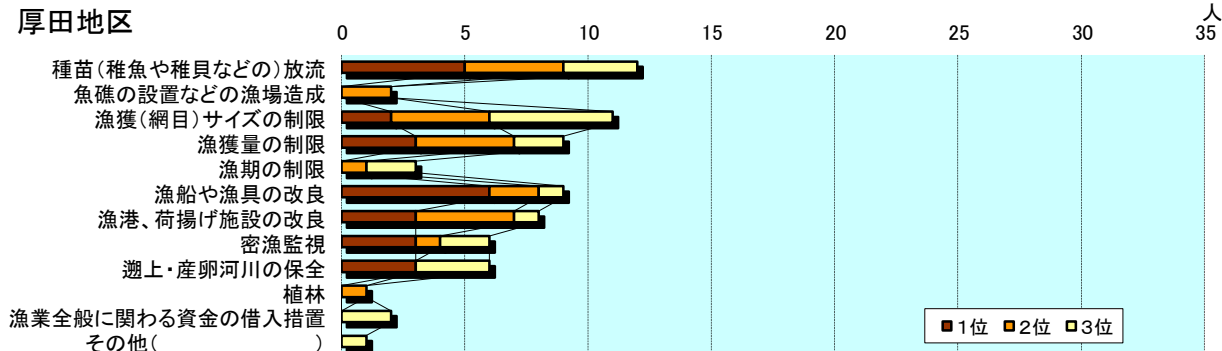
問 5 漁獲量の安定・増加のための対策として必要と思う取り組みは何ですか。
1番から3番まで、順位をつけて選んでください。

全体では「種苗放流」と答えた人が多く、次いで「漁獲量の制限」、「密漁監視」となっています。地区別にみても種苗放流の割合が多く、続いて石狩地区では「漁獲(網目)サイズの規制」と「漁獲量の制限」が、厚田地区では「漁獲(網目)サイズの規制」が、浜益地区では「密漁監視」が多くなっています。

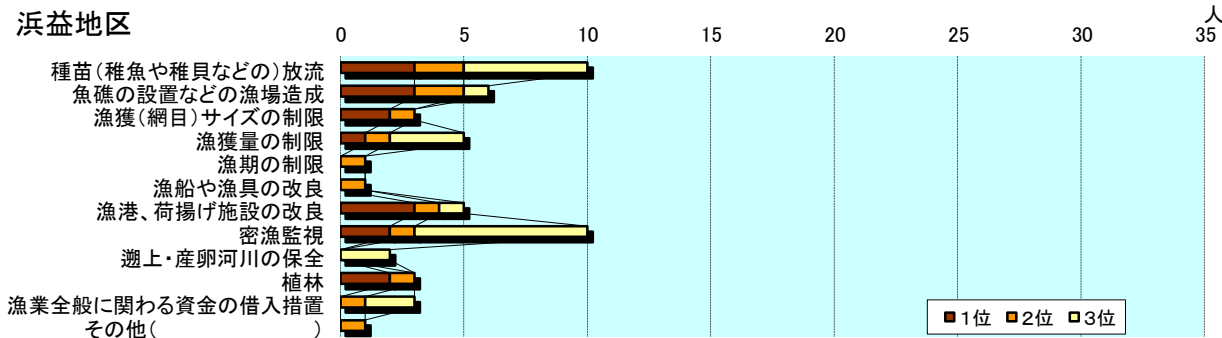
石狩地区



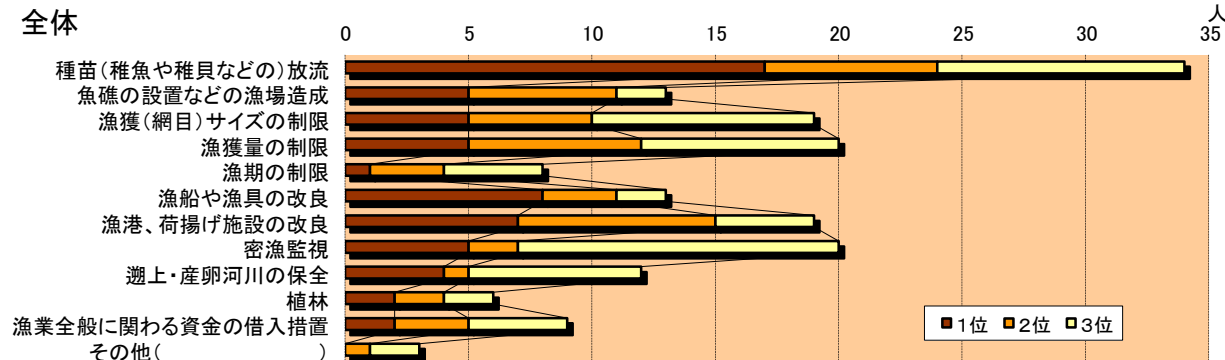
厚田地区



浜益地区



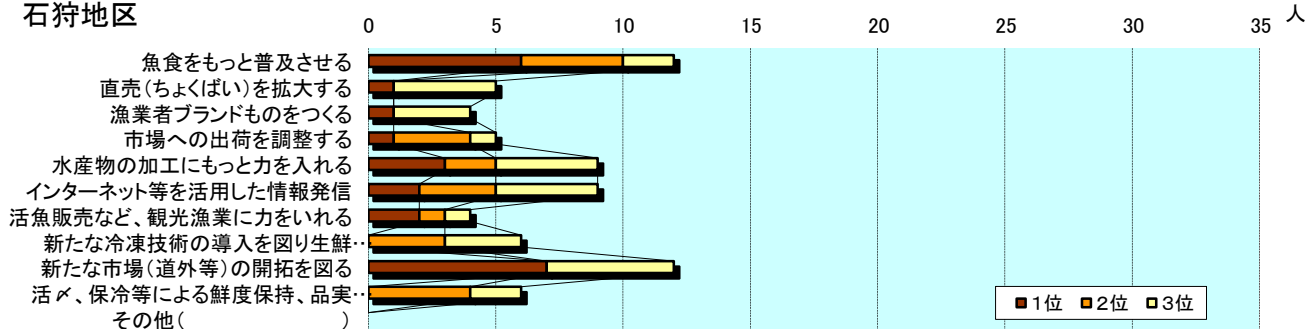
全体



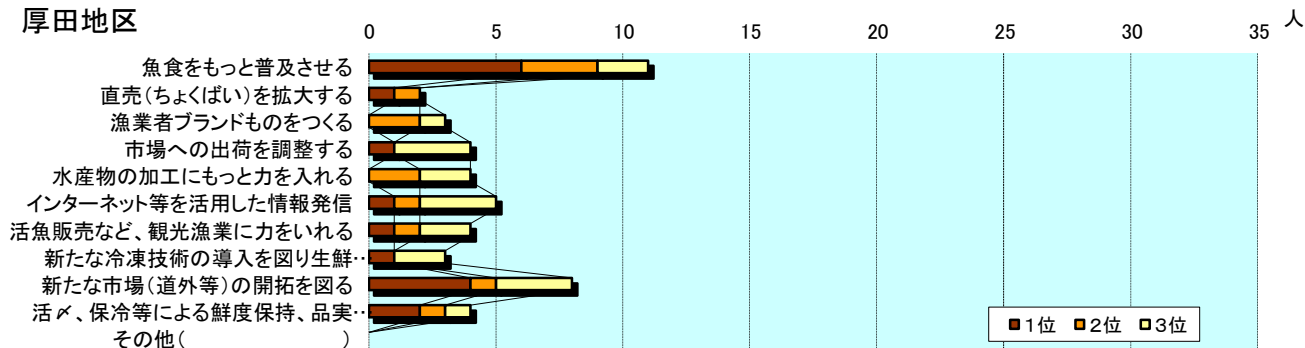
問 6 水産物の価格を上げるために特に必要と思うものは何か。
1番から3番まで、順位をつけて選んでください。

全体、地区別とも「魚食をもっと普及させる」が多く、続いて「新たな市場(道外等)の開拓を図る」となっています。そのほかには、石狩地区では「水産加工にもっと力を入れる」と「インターネット等を活用した情報発信」が、厚田地区では「インターネット等を活用した情報発信」が、浜益地区では「水産加工にもっと力を入れる」が多くなっています。

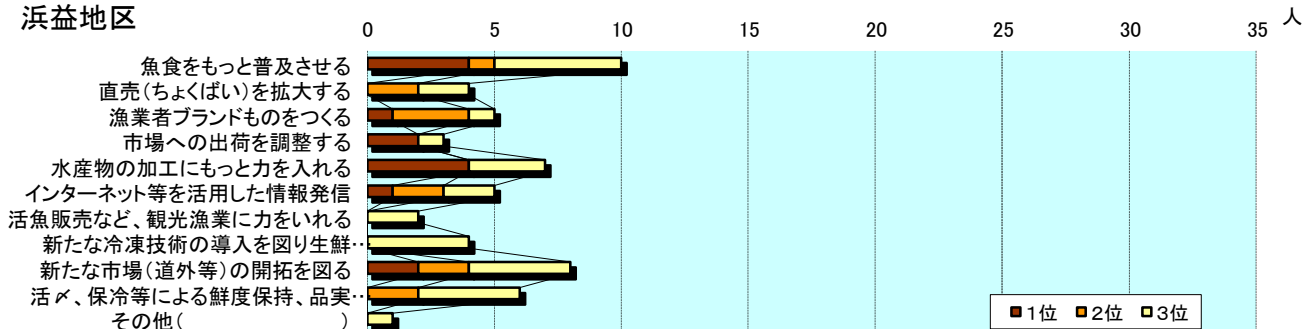
石狩地区



厚田地区

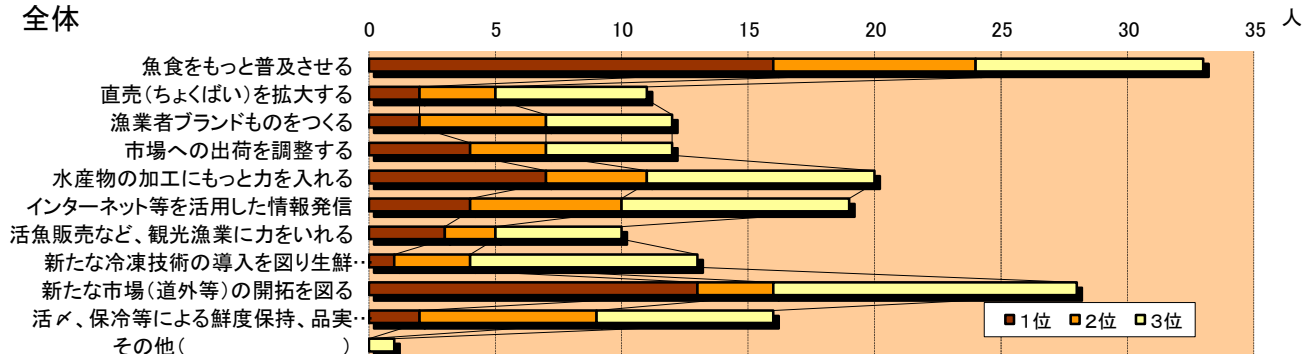


浜益地区



※ その他:養殖

全体

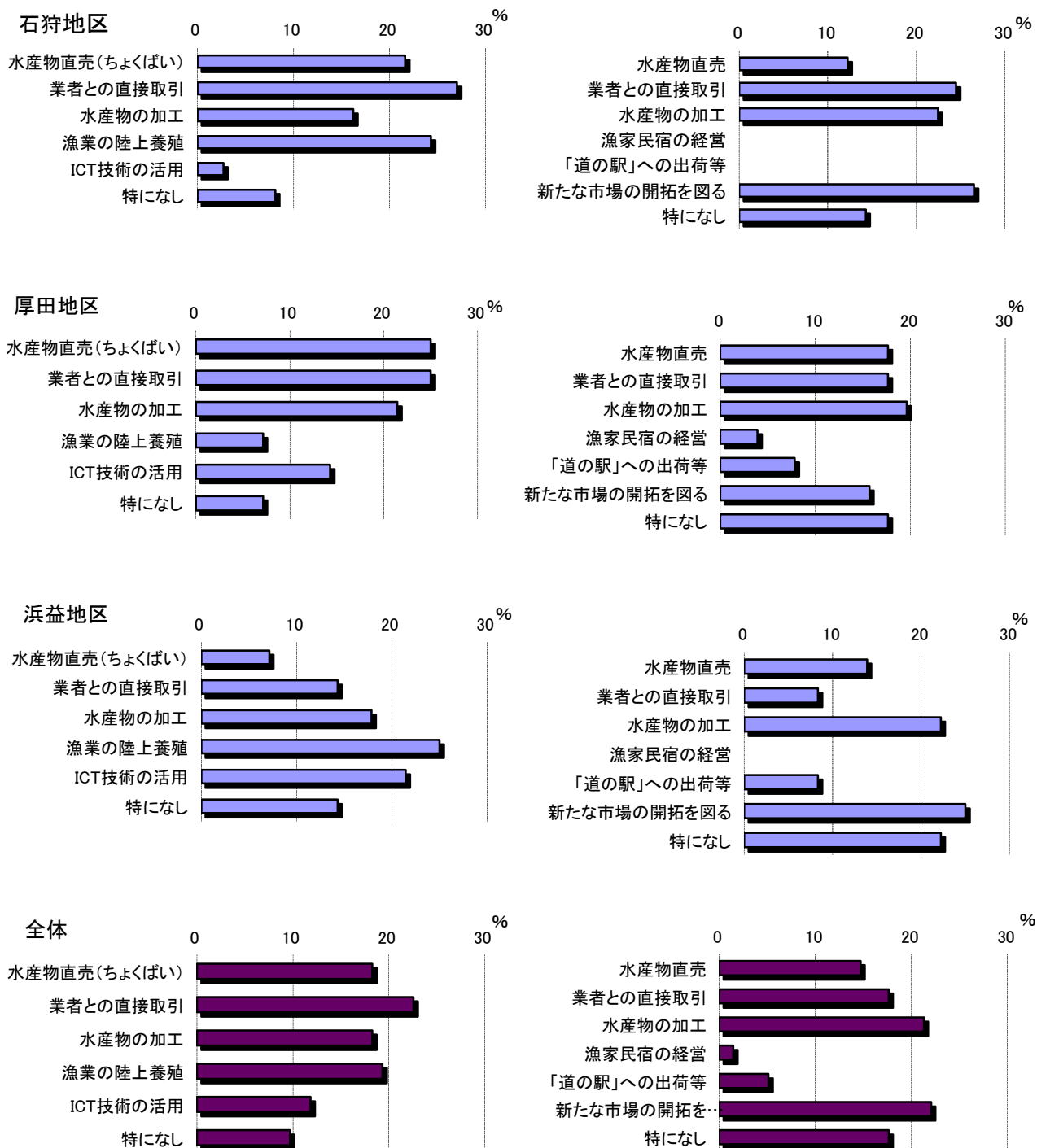


問7 あなたが今後取り組んでみたいことがありますか。
選んで○をつけて下さい(複数選択可)。

全体では「業者との直接取引」と答えた人の比率が23%で最も高く、「魚類の陸上養殖」、「水産物直売」が続いています。地区別には、石狩地区では「業者との直接取引」、厚田地区では「水産物直売」と「業者との直接取引」が、浜益地区で「魚類の陸上養殖」が高くなっています。

令和3年

平成28年

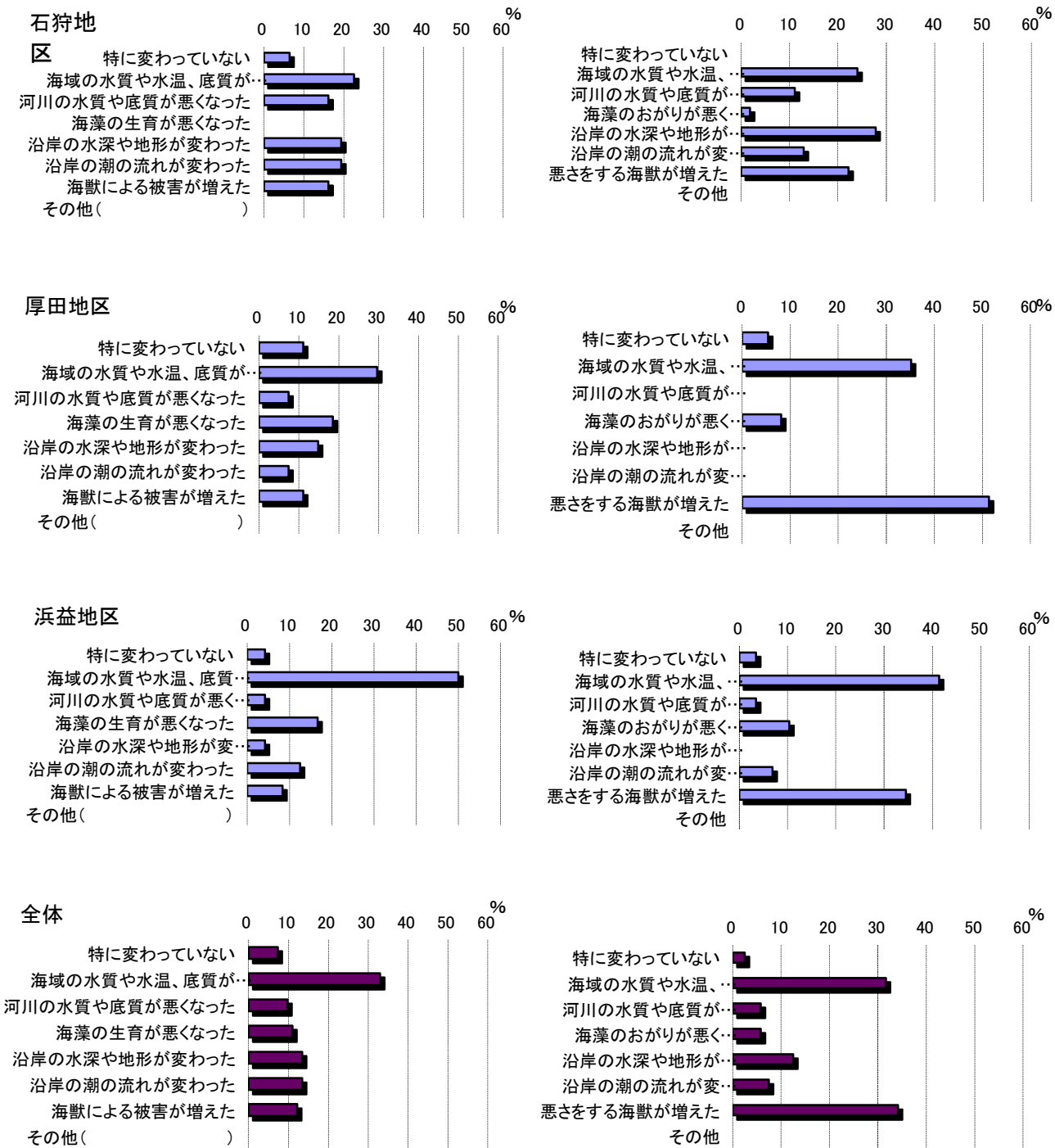


問 8 5年前と比べて漁場環境は変わってきていると思いますか。
1つ選んで○をつけて下さい。

全体、地区別とも「海域の水質や水温、底質が悪くなった」と答えた方が多くなっています。
前回調査と比較すると、海獣被害の割合が低下しています。

令和3年

平成28年

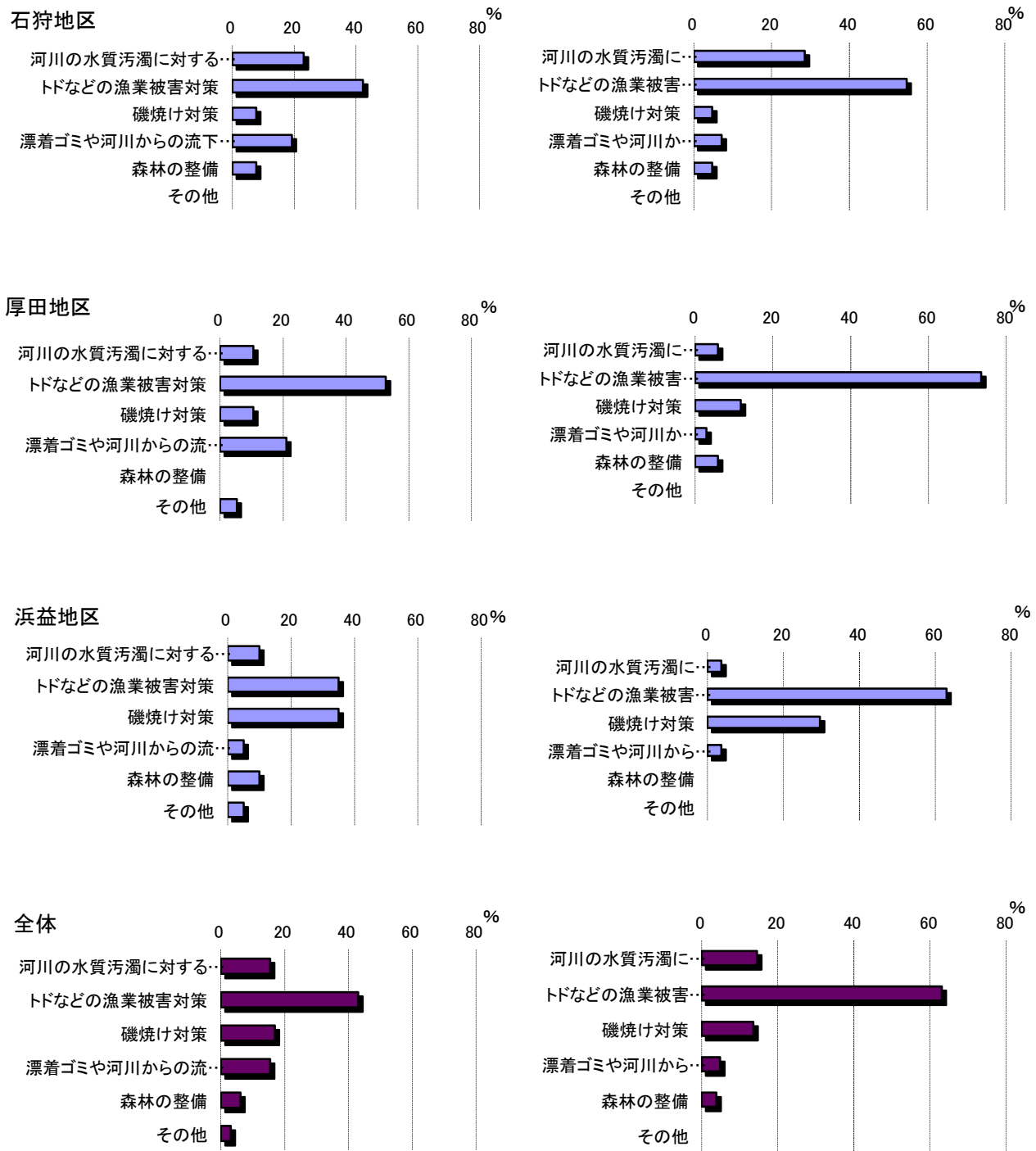


問 9 あなたが環境対策として最も望むものは何ですか。
1つ選んで○をつけてください。

全体、地区別とも、「トドなどの漁業被害対策」が最も高くなっています。それに続いて地区別では石狩地区で、「河川の水質汚濁に対する規制強化」が、厚田地区では「漂着ゴミや河川からの流下物対策」が、浜益地区では、「磯焼け対策」が多く選ばれています。
前回調査でも同様の傾向となっています。

令和3年

平成28年

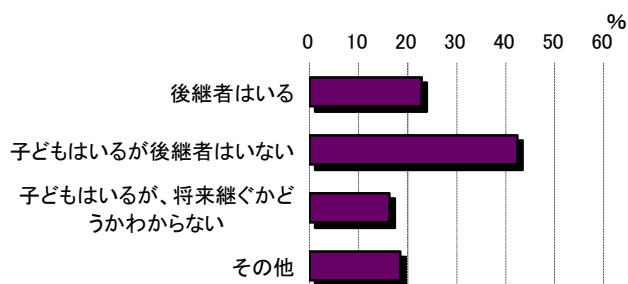
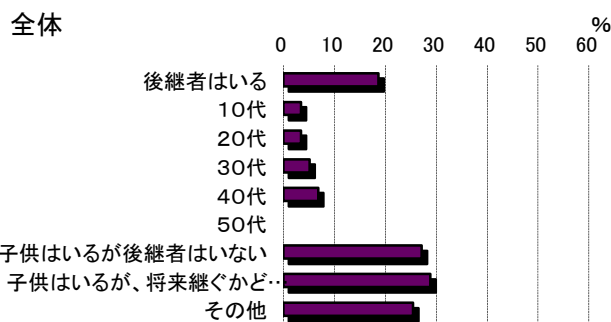
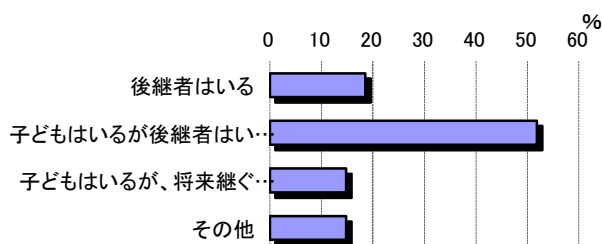
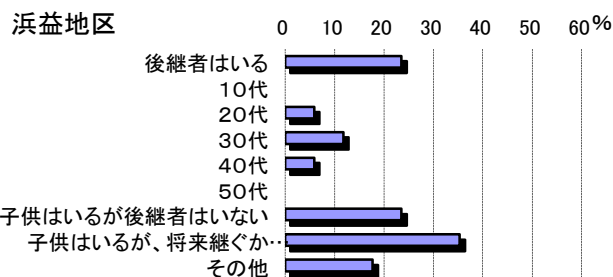
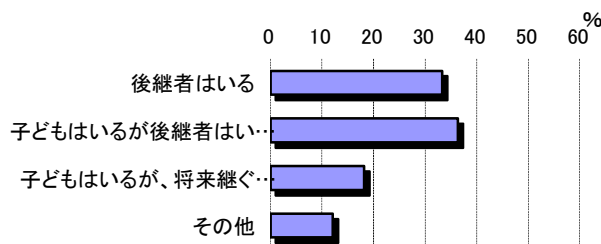
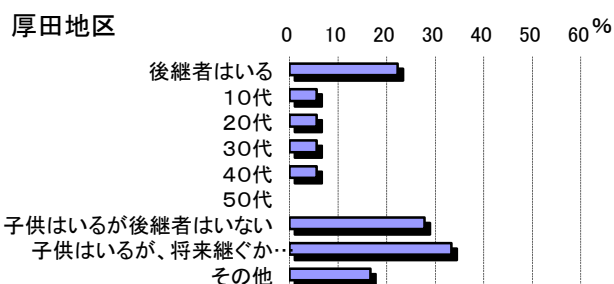
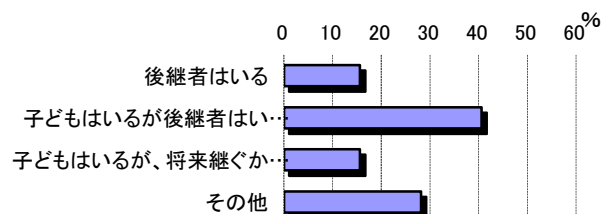
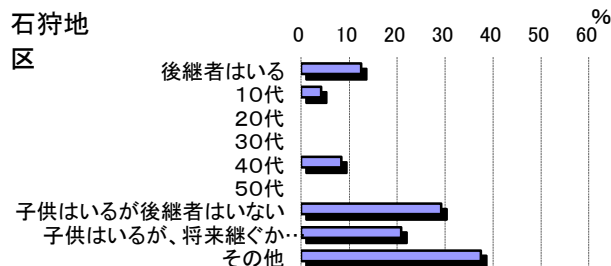


問10 あなたに漁業後継者はいますか。
1つ選んで○をつけてください。

全体では「子どもはいるが、将来次ぐかどうかはわからない」が最も多く、「後継者はいる」と答えた人は、石狩地区で13%、厚田地区で22%、浜益地区で25%となっています。後継者の年齢では30代、40代が多くなっています。

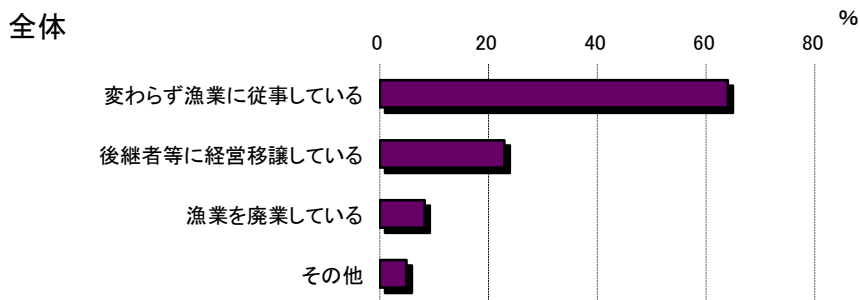
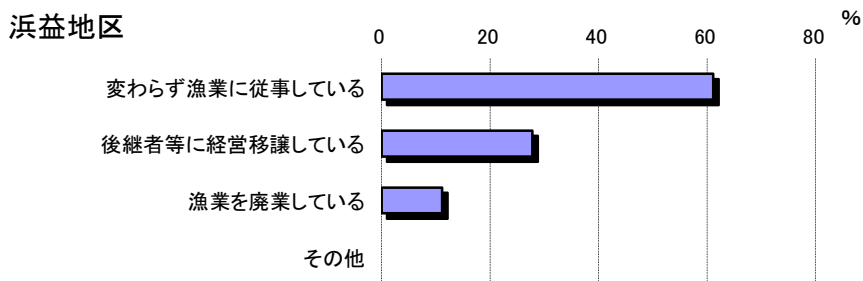
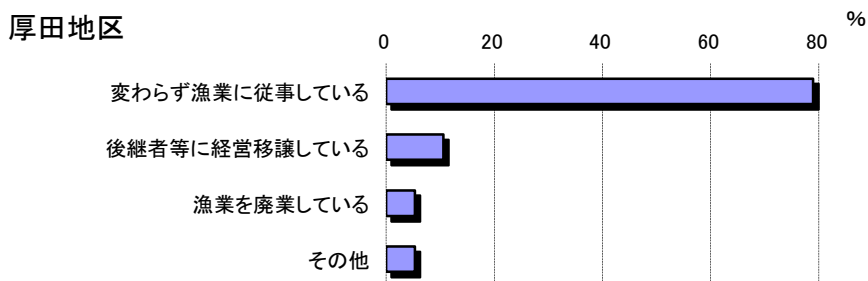
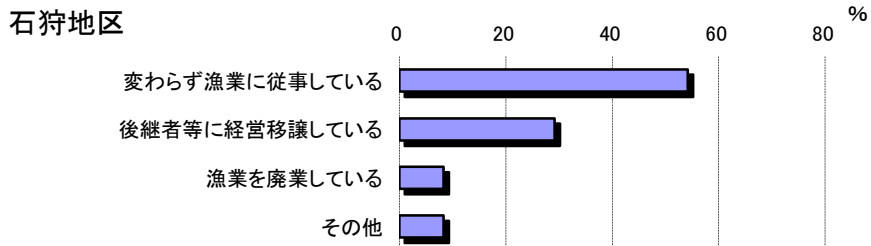
令和3年

平成28年



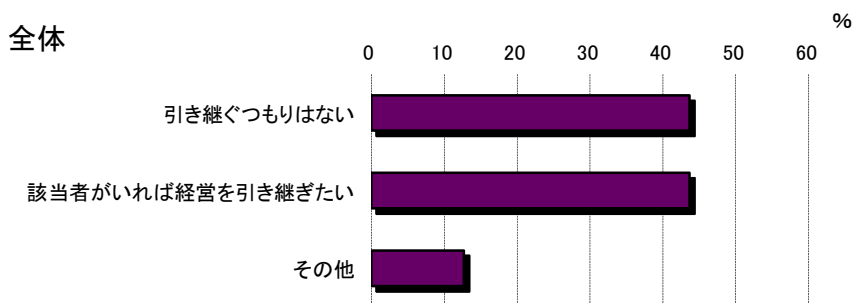
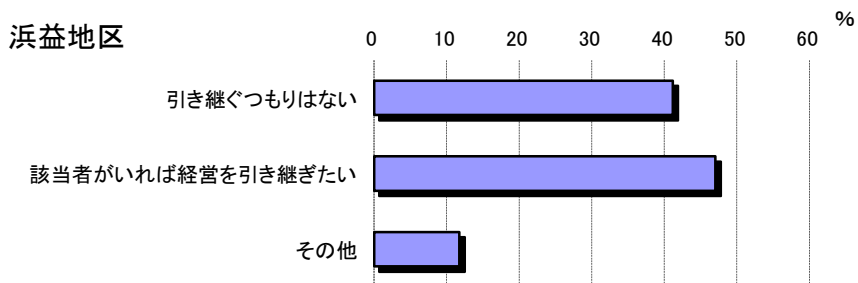
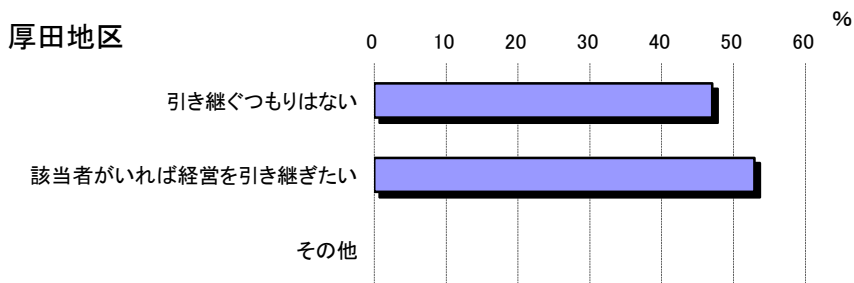
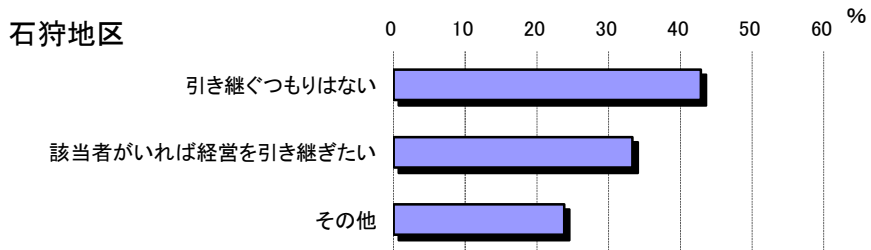
問11 あなたの漁業は10年後どのようになっていると思いますか。
1つ選んで○をつけてください。

全体、地区別とも「変わらず漁業に従事している」が最も多く、ついで「後継者等に経営移譲している」、「漁業を廃業している」と続いています。



問12 あなたの漁業経営を誰か引き継ぐお考えはありますか。
1つ選んで○をつけてください。

全体、では「引き継ぐつもりはない」と「該当者がいれば経営を引き継ぎたい」が多く、地区別では石狩地区で「引き継ぐつもりはない」が、厚田、浜益地区では「該当者がいれば経営を引き継ぎたい」が多くなっています。



問13 漁業後継者をもっと増やすために必要なことは何ですか。
選んで○をつけて下さい(複数選択可)。

全体では、「漁業経営の安定化」が多く、次いで「融資などの経営支援策の充実」となっています。地区別でも、全地区で「漁業経営の安定化」の比率が高く、次いで石狩地区では「後継者育成のための研修制度の充実」、が、厚田、浜益地区では「融資などの経営支援策の充実」が多くなっています。

令和3年

平成28年

